

RAINBOW

NO. 97

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kyouiku/gakkou/>

2022年、新年を迎えました。

“一年の計は元旦にあり”と言いますが、「今年はこの本を読みたい」「おもしろい本に出会いたい」、「〇〇冊読むのを目標にする」などと考えると、今年一年の読書が楽しみになってきませんか。このワクワク感を子どもたちにも味わってほしいですね。



学校図書館活用研修会を開催しました

日時:令和3年9月30日(木)15:00~16:30 会場:松江市市民活動センター

学校図書館活用教育の現状について理解するとともに、授業実践意欲の向上を図り、各校における図書館活用教育の充実を目的とした研修を市立中学校、義務教育学校（後期課程）、高等学校に勤務する教員と学校司書を対象に行い、31名が参加し研鑽を積みました。

研修内容

講義Ⅰ「学校図書館活用教育の意義」

講師 島根県立図書館(兼)教育庁教育指導課
 指導主事 高麗 美保 氏

県内児童生徒の学力に関する傾向と課題をもとに、子どもたちに必要な資質・能力をつけていくためのヒントを「教科横断的な視点」や「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」をキーワードに話していただきました。特に学校図書館の充実や学校図書館の機能の活用の必要性について、詳しく伝えていただきました。



講義Ⅱ - Ⅰ「新学習指導要領がめざす『学力』を育てる学校図書館活用教育」

講義Ⅱ - Ⅱ「中学校部分を改訂した学び方指導体系表を活用した年間指導計画の作成や授業実践」

講師 帝京大学 教育学部 教授 鎌田 和宏 氏

前半は新学習指導要領をもとに、これからの学校教育が目指す方向や学校図書館の基本について説明していただきました。

後半はこれからの学校図書館経営についての講義でした。学校図書館の運営や活用には、全体計画や年間計画、各学年の計画、各教科の計画など「計画の作成と実践が鍵」であり、評価を行い、次につなげていくということが大切だと伝えていただきました。松江市が作成している「学び方指導体系表」について、表の見方や活用のポイントを解説していただきました。(鎌田教授には松江市の体系表作成の際に指導助言をいただいています。)

参加者の感想

- ・子どもたちの学習のベースとなる言語能力と情報活用能力、問題発見・解決能力を育てていくために学校図書館の重要性を強く感じた。学び方指導体系表を活用しながら、自校で取り組めるところをもっと増やしていきたい。
- ・国語科だけでなくすべての教科で図書館活用が進むように、図書館活用教育についての理解を深めるとともに、活用できる年間指導計画になるように工夫したい。
- ・今年度、各教科の年間指導計画をもとに学校図書館活用計画を作成した。今後は、資料リストの作成と資料評価を行い、よりよい活用を目指していきたい。

学校図書館活用教育に係るブロック別研修を行いました

小中一貫教育の視点から学校図書館活用教育を行うために、中学校区(5～8校)を1ブロックとし、ブロックごとに図書館運営について情報交換をしたり、学習支援や読書支援についての課題を話し合ったりする研修を行いました。

A1ブロック (千鳥の杜学園・しまね潮風学園) 会場：城北小学校

- ・購入図書の紹介(学習に役立つ図書や読み物)
- 今年度購入した図書の中で、授業や読書活動で活用して良かった図書について、活用事例を交えて紹介し合った。



活用した図書の紹介



情報交換の様子

A2ブロック (湖北白鳥学園・鹿島ふれあい学園) 会場：鹿島東小学校

- ・修学旅行に関する学習で役立つ資料について
- ・読書推進活動の手立てについて

今年度は修学旅行の行先が県内になり、事前・事後学習に提供する資料が今までとは違ってきた。どのような資料を提供したのか(する予定なのか)の情報交換を行った。読書推進の手立てとして、担当が本と子どもをつなぐための支援や子ども同士で本を紹介し合う取組などの事例を紹介し合った。

B1ブロック (嵩の杜学園) 会場：朝酌小学校

- ・各校の学習における図書館活用についての紹介

子どもたちが図書やリーフレット、パンフレット、逐次刊行物等、WEB資料などのたくさんの情報源を目的に応じて使いこなせるようにするための支援について情報交換を行った。



情報の読み取り方の指導について紹介



季節の展示コーナー(本庄小)

B2ブロック (本庄水辺の学園・海と朝日の美保関学園・八束学園) 会場：本庄小学校

- ・各校おすすめの本の紹介
- ・学びのサポーター事業の取組について

子どもたちの発達段階に合った本を選定し、読むことの楽しさを経験させることの工夫や知識や考えを広げる図書の紹介についての情報交換を行った。

C1ブロック (まつえ天神川学園・まつえ湖南学園)
会場：雑賀小学校

- ・「知識や考えを広げる本の紹介」の取組について
- ・本の良さとタブレットの良さについて考える

子どもたちの興味関心が広がり深まるような本の紹介や展示について、工夫していることなどの情報交換を行った。本とタブレットのそれぞれの良さを生かし、有効的に活用していくことについての意見交換を行った。



情報交換の様子



「SDGs すごろく」の体験

C2ブロック (宍道みずうみ学園・玉湯まがたま学園)
会場：義務教育学校 玉湯学園

- ・「SDGs すごろく」の活用について
- ・取組についての情報交換

「楽しくSDGsを学ぶ方法とは？」についての取組を聞いた後、「SDGs すごろく」(すごろくを楽しみながらSDGsについて理解を深める)の体験を行った。中学校区や学園で情報共有しながら取り組んでいることや、児童生徒や教員のニーズに対応するための工夫について情報交換を行った。

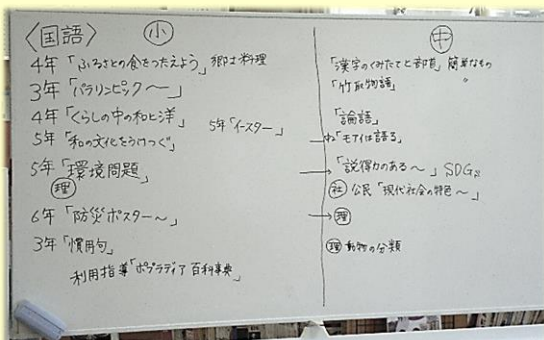
D1ブロック
(津田古志原夢きぼう学園・やくも意宇学園)
会場：津田小学校

- ・「知識や考えを広げる本の紹介」の取組について
- ・持ち寄った資料にもとづいての情報交換

ブックトークや展示コーナーの設置、テーマ別資料リストを配付するなど、本の紹介について情報交換を行った。事前に参加者各自がライブライナーナビを作成して持ち寄り、紹介し合った。



各校が持ち寄ったライブライナーナビ



情報交換で出た意見の一覧
(小中学校で共通して活用できる資料)

D2ブロック
(湖東かなび学園・ほっとハート東出雲学園)
会場：意東小学校

- ・小・中学校の図書館活用単元についての情報共有
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

図書館を活用する単元や活用した資料について情報交換し、小中学校の相互貸借の可能性について考えた。各校で講じている感染症拡大防止策について、情報交換を行った。

学校司書の活動や気づき 令和3年9月10月11月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように学校番号(運営説明会資料名簿番号)を文末に表記しています。)

●読書支援に関すること

- ・5年生のおすすめの本に『松江人物ものがたり 近世・近代に生きた人たち』(松江市教育委員会)を入れている。ある児童が読み終わって返す時に、「不昧公さんが一番好きだった」と言ってきた。また、別の児童は「福田与志さんてすごいね」と言ってきた。このような機会にも松江の良さを知ることにつながっていると感じた。(3)
- ・10月27日から11月9日の読書週間の間に、「おはなし給食」の日がある。今年は、『かぼちゃスープ』(アスラン書房)の中に出てくるスープがメニューになっていた。各クラスに『かぼちゃスープ』を読み聞かせに行くと、絵本であったが高学年も楽しく聞いてくれた。給食の後に味の感想を伝えに来てくれた児童もいて会話をするきっかけにもなった。(15)
- ・1学期は「図書の日」に学習に関連した本を時間の初めに紹介してきた。振り返ってみると、読書を楽しむ本の紹介が少なかったことに気づき、9月は物語の本を紹介した。6年生は『宝島』のような古典名作を借りる子もいた。古典童話シリーズだったため、借りた子は本の厚さにひるみながらも「挑戦してみます」と笑顔を見せてくれたのが印象的だった。学校司書として古典的な名作を読むことを「特別に良いこと」と評価しているわけではないが、子どもたちの選書の幅が広がり、読んでみようと思ってくれたことはとても嬉しいことだった。今後も様々な本を紹介していきたい。(48)



●授業支援に関すること

- ・4年生が総合的な学習の時間の「環境学習」で環境問題やSDGsについての調べ学習を行った。資料を集める中で、SDGsは17の目標があり、その内容も多岐にわたるが、1つ1つの目標をそれぞれ詳しく調べられる資料が複数冊あるとよいと感じていた。ちょうど、嵩の杜学園の学校司書会で各目標についてわかりやすく解説している本の紹介があったので、参考にして自校でも揃えていきたいと思った。合わせて、関連する内容で理解が深められるような絵本や読み物も入れていきたいと考えている。(16)



- ・中学3年生の「NIE教室」があり、授業を参観した。今までは新聞の掲示を見る生徒は少なかったが、「NIE教室」で新聞の便利さや信用性の高さ、面白さに気付いたせいか、新聞を読む生徒が増えたように思う。文化委員が選んで感想を記入した新聞記事を掲示したところ、記事について自分の感想を伝え合う生徒の姿が見られた。(43)
- ・資料を学級に貸し出す際に、ブックトラックや箱の横に資料リストをクリアファイルに入れて張り付けて貸出している。リストが傷んだり、紛失したりすることがなく、担任も返却時のチェックがしやすいようだ。図書館に返却された際には、資料について気づいたことをリストに書き込んで保存している。(49)

松江市教育委員会 校務GW全体共有フォルダ(学校図書館支援センター)を更新しました

校務GW全体共有フォルダ(学校図書館支援センター)を随時、更新しています。学校図書館の運営や活用教育、読書指導等にお役立てください。

アクセスは [校務GW全体共有フォルダ](#) > [照会回答](#) > [04 学校教育課](#) > [学校図書館支援センター](#)

12月に更新したものの「授業や読書活動で活用できる資料」

- ・小2 国語「ビーバーの大工事」
- ・小3 社会「市のうつりかわり」
- ・小3 総合「松江城」
- ・中1 国語「今に生きる言葉」
- ・中2 国語「古典の世界を広げる 徒然草」
- ・中 地理「世界の諸地域 アジア州」「日本の諸地域」

ショートカットを
デスクトップに貼り
付けておくと便利です。